

SHISEI

第78号 2025年1月

一般社団法人 至誠会第二病院 〒157-8550 東京都世田谷区上祖師谷5-19-1 TEL: 03-3300-0366(代表) FAX: 03-3307-6731(代表)
編集: 総合患者支援室(内線211/395) FAX: 03-3307-0013(直通) URL: <https://www.shiseikai-daini-hosp.jp/>

レカネマブ（レケンビ）を用いた治療について

神経内科部長 久保 昌史

認知症関連の治療にレカネマブ(製造名: レケンビ)というお薬が使用できるようになりました。テレビのニュースでも取り上げられたためか、その後も大変話題となっているお薬です。当科でもすでにこの治療を受けておられる方がおり、たくさんの方が継続しています。ではこのお薬はどのようなもので、またなぜ話題となっているのでしょうか。



“もの忘れ外来”には、毎週多くの患者さんが受診に来られます。記憶力の低下、仕事、家事能力の低下、最近妙に怒りっぽい、言葉が上手く出てこない・・・など、皆さん様々な問題を抱えて来られます。年を重ねれば記憶力をはじめとした脳の機能(認知機能)が徐々に低下していくことは自然の摂理とも言えますが、中には年相応とは言えないような、あるいは若くても低下し始めるといった状態の方もいらっしゃいます。また、その程度は様々です。

認知機能の低下はあるものの、工夫や努力をしながら日常生活が自立・保たれている状態を軽度認知障害(MCI)、また日常生活が自立できず介助が必要である状態を認知症といいます。そして、このような認知機能の低下をもたらす原因の中で1番多いのが、有名なアルツハイマー病というわけです。アルツハイマー病はアミロイドという蛋白がたまる病気で、その蓄積が最終的には認知機能を低下させていきます。

今回、治療薬として使用できるようになったレカネマブ(レケンビ)は、患者さんの脳の中に異常に多く溜まったこのアミロイド蛋白を脳の中から取り除いていくという仕組みをもつ、これまでになかった画期的なお薬です。このような、目的とする蛋白を脳内から取り除くという薬は今まで存在していませんでした。(多くの国の製薬会社がこのような作用を持つお薬の開発に取り組んできた結果、ようやく日本とアメリカの会社が共同で開発に成功したため、大きな話題となったわけです。)

基本理念 「至誠と愛」の心を持って、医療を誠実に行之、地域、社会に貢献いたします

- 基本方針**
1. 全職員のチームワークにより、患者さま中心の医療を提供いたします。
 2. 安全で質の高い医療を提供いたします。
 3. 地域医療への貢献と連携の推進を行います。
 4. 医療の進展に沿うべく絶えず努力をいたします。
 5. 情報を開示し、医療の透明性に努めます。
 6. 健全で安定した医療経営に努めます。



従って、このレカネマブ(レケンビ)というお薬を使用できる患者さんは、アルツハイマー病の患者さんに限られます。具体的には、アルツハイマー病が原因で認知機能が低下し軽度認知障害(MCI)となっているか、あるいは認知症(但し、軽い程度までです)となっている患者さんとなります。

では、アルツハイマー病であるかどうか、どのようにわかるのでしょうか。具体的には、アミロイドPETという検査を患者さんには受けて頂きます。検査により脳のどこに異常にアミロイド蛋白が溜まっているのかをカラー画像を用いて目に見える形で知ることができます。患者さんにとっても分かりやすいものといえるでしょう。当院にはこの装置自体はありませんが、検査施設と提携し速やかに検査が受けられるような仕組みを整えています。

さらにレカネマブ(レケンビ)の投与を受けるまでには、認知機能の低下が軽度認知障害から認知症(軽度)の範囲内にあるかをみるための神経心理検査や、お薬投与による副作用を防止するために頭部MRI検査なども必要ですが、これらの検査は当院で全て受けて頂く事が出来ます。

アルツハイマー病である場合、認知機能は確実に低下していきます。軽度認知障害から認知症へ、そして認知症の中でも軽度から中等度、そして重度へと進行していきます。その進行速度は患者さんによっても異なりますが、原因物質であるアミロイド蛋白を除去することによって、この進行に広く確実にブレーキをかけることができます。最初は小さなブレーキでもこのブレーキをかけ続けることで、年月を経ていくうちにその進行に大きな違いが生じてくると思われます。

当科では、いつもの“もの忘れ外来”とは別に、この春より月曜日午前レカネマブ(レケンビ)専用外来を特別に設けており、このお薬に関する患者さんのご要望に迅速かつ確実に対応できるようにしています。すでに多くの患者さんに御利用頂いており、レカネマブ(レケンビ)の点滴で点滴室は忙しくなっているほどです。専用外来を設けることで、皆さんの不安や心配に寄り添いながら、認知症における地域医療に更なる貢献すべく全力で取り組んでおります。



レカネマブ(レケンビ)共同開発 Biogen CEO
Eleonore Duboisさんが当院へ来院された際の写真です。

■ プロフィール ■

くほ まさし
久保 昌史

神経内科部長／病院産業医

臨床神経学全般

日本神経学会神経内科専門医・指導医

日本認知症学会認知症専門医・指導医

日本内科学会総合内科専門医・認定内科医

日本神経免疫学会神経免疫診療認定医

※ “もの忘れ外来”、“レケンビ外来”は完全予約制となっております。

詳しくはホームページ、または総合患者支援室へお問い合わせください。

★ 市民公開講座開催のご報告 ★

『あなたの骨と筋肉は大丈夫?』～骨粗しょう症を予防しよう～

今回の市民公開講座では、上記をテーマに講演、体操をさせていただきました。

足元の悪い中、ご参加頂きました市民の皆様には心より感謝申し上げます。

日時:2024年11月2日(土)14:00～15:30 会場:至誠会看護専門学校 4階講堂



講演内容

- | | | |
|---------------------|--------------------------|---------|
| ①『骨粗鬆症とは』 | 講師:至誠会第二病院 整形外科 部長 | 辻 耕二先生 |
| ②『体組成について』 | 講師:至誠会第二病院 脳神経外科 医長 | 比嘉 綾香先生 |
| ③『骨ケア・筋肉ケアの食事について』 | 講師:至誠会第二病院 栄養科 栄養管理士 | 飯塚 祐子先生 |
| ④『骨と筋肉のためのトレーニング体操』 | 講師:至誠会第二病院 リハビリテーション室 士長 | 杉原 一玄先生 |



▲ 会場風景



▲ 講演頂いた先生方

♡いきいきナース ～ある看護師の一日～ #41

令和6年度『大規模地震時医療活動訓練』が終了して ～災害に対して、私たち看護師ができること～

副看護部長

日本 DMAT 隊員

板垣 久美子

9月27日(金)・28日(土)の2日間、内閣府による国や地方公共団体等の関係機関と連携して「令和6年度大規模地震時医療活動訓練」が実施されました。首都直下地震による埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県に甚大な被害が発生したという想定で、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team:DMAT)の参集・活動訓練、地域医療活動訓練、広域医療搬送訓練が行われました。

災害拠点病院である当院は、災害対策本部(大きな災害が発生した際に、その対応を行うために臨時で設置される組織)の設置と運営、傷病者のトリアージ(災害発生時などに多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うための治療優先順位を決定すること)を実施しました。また他県DMAT2チームが当院に派遣されたことで、当院職員が災害対策本部の運営、傷病者のトリアージを他者と連携し活動訓練するという貴重な経験になったと思います。

今回の訓練を通して感じたことは、組織全体の災害に関わる知識の底上げが必要なことです。組織の中でも看護部はスタッフが一番多い部門であり、看護師は『24時間・365日』患者さまの医療・看護の提供に寄り添う一番身近な存在です。加え、災害時は災害の種類・被害状況・フェーズ(発災直後から復興までの時間経過)によって、医療・看護のニーズは刻々と変化します。そのため、災害時、患者さまの一番身近にいる私たち看護師が自身の役割を理解し、修得した知識を最大限に活かし行動することが『患者さま(被災者)を守ること』『自分自身を守ること』『心と身体の被害を最小限にすること』につながると言えます。今回の訓練を通じて私たち看護師ができることは、得た経験を糧として知識を積み上げ、災害時は活動できるよう『災害に強い組織(看護部)の構築』に努めることと考えています。

みんなの栄養学

～味噌をひも解く～



栄養管理室 飯塚 祐子

今年も1年が始まりましたね。今回は日本の伝統食材「味噌」について、ご紹介します。

【味噌の寒仕込み】

寒仕込みとは、前年の秋に収穫した大豆と米を原料とし、1月の寒の内（小寒の日から節分までの約30日間）に行う味噌の仕込みのことです。寒さが厳しいこの時季、空気中の雑菌が少なく仕込みに最も適しており、ゆっくりと時間をかけて発酵することで、深みのある味わいに仕上がります。

【歴史】

味噌はいつ頃、どこで誕生したのでしょうか。その歴史は1300年以上前に遡り、当時は贅沢な食品として食され、薬としても珍重されていたそうです。味噌汁として食されるようになったのは、「一汁一菜」という武士の食事習慣が確立した鎌倉時代。さらに江戸時代に、「手前味噌」と言われるように庶民の間でも味噌造りが盛んになり、味噌を使った料理が一気に広まりました。

【栄養】

味噌の主原料である大豆は、“畑の肉”といわれるほど良質なたんぱく質を豊富に含みます。味噌は大豆以上に栄養価が高く、発酵の過程でアミノ酸やビタミンなどが多く生成され、生命維持に不可欠とされる必須アミノ酸は9種類すべてが含まれています。その他にも、炭水化物、脂質、ビタミン、カリウム、マグネシウム、食物繊維も含まれ、栄養豊富な食材の1つです。

わが家は、朝食に具だくさんのお味噌汁を頂くことが多く、今年は「手前味噌」に倣い、味噌造りにチャレンジしてみようと思っています!!

皆さんも寒い時期はお味噌汁で体を温め、一年を健康に過ごしてみませんか?



◆ 診療科

- 内科 ● 呼吸器内科 ● 消化器内科 ● 循環器内科
- 神経内科 ● 糖尿病内科 ● 外科 ● 整形外科
- 人工関節センター（整形外科） ● 足の外科センター（整形外科）
- 脳神経外科 ● 産婦人科 ● 泌尿器科 ● 小児科
- 眼科 ● 麻酔科（ペインクリニック） ● 放射線科

月初めご来院時には
保険証の確認をさせて
いただいております。

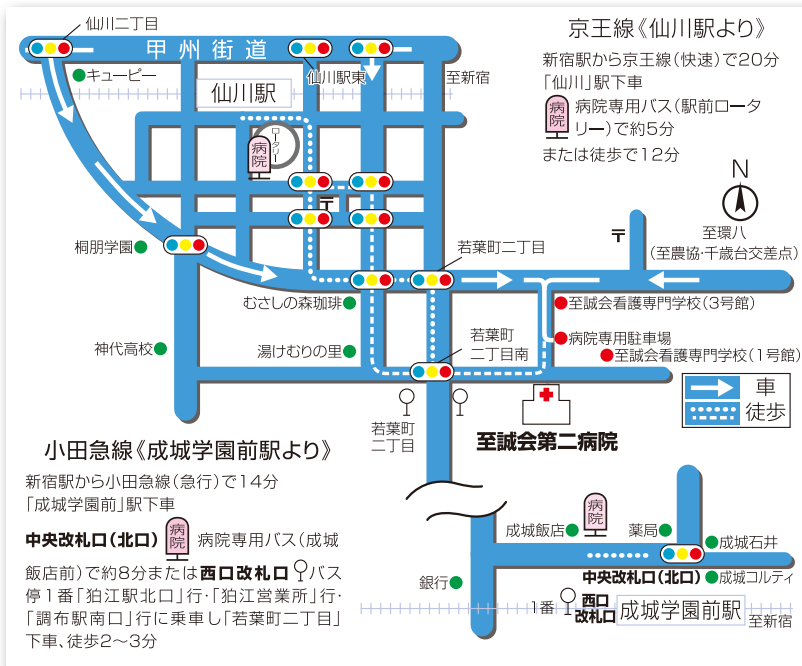
病院専用バス時刻表

- 土曜日は午前中のみ運行します。
- 日曜祭日は休診につき運休です。
- ○印は土曜日の最終便です。

H30.4.1付

京王線 仙川駅		
時間	病院 発	仙川駅 発
8時	20 40	3 30 45
9時	5 25 45	15 35 55
10時	5 25 45	15 35 55
11時	5 25 45	15 35 55
12時	5 25 45	15 35 55
13時	5 (25) 45	(15) 35 55
14時	5 25 45	15 35 55
15時	5 25 45	15 35 55
16時	5 25 45	15 35

小田急線 成城学園前駅		
時間	病院 発	成城学園前駅 発
8時	20	0 35
9時	10 40	20 50
10時	10 40	20 50
11時	10 40	20 50
12時	10 40	20 50
13時	10 (40)	(20) 50
14時	10 40	20 50
15時	10 40	20 50
16時	10 40	20



一般社団法人 至誠会第二病院

受付時間一平日8:15~11:30/13:00~16:00、土曜日8:15~11:30
休診日一曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)